2022年（令和4年）
第32号
（6月1日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　田中規之
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

今月のことば　～慈悲の心で-忍辱②～　亀岡支部副主任　野村佳子

今月は亀岡支部の野村が担当させて頂きます。
縁あって野村家に嫁ぎ、37 年目を迎えます。私には自慢できることがあって、それは４人の息子たちです。それぞれに努力をして、自分の道を歩いてくれていました。ところが昨年 10 月 12 日突然、次男の侑輝が仕事中の事故の為、亡くなってしまいました。どう悲しんでいいのか、だれを恨んでいいのか、どう反省すればいいのか、心の持って生き方がわからず、胸の中にぽっかり穴が開いて、その穴を見ないように、その穴にはまらない様にするのが精一杯でした。この悲しみは、母親である私にしかわからず、押しつぶされそうでしたが、泣いている主人の姿を見て、悲しいのは、主人も同じなんだ、と思うと、少し心が軽くなりました。主人と「これから侑輝の喜ぶことをしていこう」と話をしました。

侑輝は、８年前に伊賀上野の道路舗装の会社に就職し、社長さんに気に入られ、父のように頼りにしていました。小さな会社ですが、昨年６月には、部長職につき、役員にも取り立ててもらっていたそうです。そのことを私たちには何にも言いませんでした。何でも仕事第一に考えていたようで、実家に帰ってきても、仕事があるからと日帰りで帰っていきました。

その大切な仕事中に、同僚の方が運転するトラックにはねられて、あの世にいってしまいました。でも、その同僚の方や職場、社長さんを恨む気にはなれません。侑輝が大切にしてきた人たちです。侑輝を認め、育ててくれた仲間です。これからもその方たちに感謝して、大切にしていきたいと思っています。４人の子供を持つということは、その子供たちの人生も含めて、生きることだと思います。私の親の人生、主人の人生は、そうでもありませんが、自分が生んで育てた子供たちの人生には、責任を感じずにはいられません。子供たちのために何もできなくても、私の人生です。

以前、会長先生のご法話の中で、「神仏から与えられた人生の宿題、その答えを見つけるのが生きる目的だ。」と教えて頂きました。

私の人生は、４人の息子たちです。侑輝は亡くなったけれど、その死を通して、生きることの意味を見つけていきます。

今月の会長先生の法話は、「慈悲の心で一忍辱②」です。侑輝を亡くしたことは、耐え難い悲しみですが、それを耐えることも忍辱ではないでしょうか？
また、事故を起こした同僚の方にも人生があり、子供さんがあり、これからの生活があります。侑輝の務めていた会社の従業員の方たちにも、これからの生活があります。益々発展していってもらいたいです。

侑輝は、野村の姓を捨て、私の希望通り、私の実家の山口の姓を継いでくれました。これ以上ない親孝行な息子でした。その侑輝の恩に報いるためにもこれからの私の生き方が大事です。人様のお役に立てるよう、日々心掛けていきます。侑輝に、頑張っている私を見てもらえるように…。

庭野開祖のご法話　政治と宗教　～信仰者らしい投票を～

憲法の前文に「国政は、国民の厳粛な信託によるもの」とあります。信託とは「信用して任せること」です。このたび行われる選挙では、世間の評判に惑わされることなく、この人ならと信じて託せる候補者に投票したいものです。だから、私たち信仰者は、日頃の自分を見つめ直し、よりよき政治が行われ、平和で一人ひとりの生命を大切にする世の中になるように祈りを込もった一票にしたいと思うのです。さらに、選挙が終わったといって、政治家任せにするのでなく、政治の動向に関心を持ち、私たちができることを考えていくことも大切です。「選挙というものは神聖であり、大切なものです。選挙を通じて政治家の態度、信条をよくみつめ、立派な人を送り出し、正しい政治をしてもらうことが現代社会ではとりわけ必要です。無責任な態度をとっていて、なにか事があると、“政治が悪い”と騒ぐのは民主主義を正しく発展させることはできません」「政治はよく分からない」「政治家は信用できない」「私の一票で政治が変わることはない」「誰に投票していいか分からない」などと言って、政治から遠ざかる人がおられます。私たちは、幸いすべてのいのちの大本となる「仏」を信じ、生き方の指針となる「教え」をいただき、共に同じ道を歩もうとする「サンガ」があります。今回の統一地方選挙(当時)に対しても、正しく見て、正しく考え、正しく語り合い、正しく行動したいものです。多くの人の幸福を願って、一票を投じましょう。

令和４年、私たちは「どこでも道場　祈り祈られ　笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/